

NSTニュース

平成27年6月30日

NO.45

☆第8回 NST セミナーを当院で開催しました。

その時の特別講演として、「摂食障害をどのように捉えるか」というテーマで、村上 治先生にお話をいただきました。

この病気はとても複雑な背景が隠れていることが多く、治すためには多くの時間を要します。しかし、治らない病気ではありません。

今回は、講演の内容のほんの一部ですが紹介します。

《治療の方法》

入院治療、心理カウンセリング、認知行動療法（不適切な考え方を修正し、食行動を改善する）、家族療法、集団療法（自助グループ、他の治療法を補助するものとして行う）です。

《回復に向けて大切なこと》

◎薬で治る病気ではなく、何よりも**病気であることの自覚**と、**治そうという強い意志が必要**（本人がこの病気であることを望んでいる部分が大きいため、治療的接近が行き詰りやすい。）

◎一人ひとりに適する治療法・治療計画を選択

◎食べ方や考え方を変えていくのが基本

◎摂食障害の治療像

- ・修正された合理的な認知により、適正な自己像・世界観を持つことができるようになる。
- ・等身大の自分で生きていくことを受け入れられるようになる。

当院でも、神経性食欲不振症の患者様が増加傾向にあります。医師、臨床心理士のみならず多方面のコ・メディカルスタッフの参加によるチーム医療の充実も望まれていますので、NSTでも今回の講演を通して得た知識を活かし、活動していきたいと思っております。

文責 管理栄養士 村岡恵子



今年もたくさんの方に参加していただき、盛大に開催できました。皆さんお疲れ様でしたー！！